

科目コード	A303
授業科目名	成人看護学実習(急性期)
授業科目名(英文)	Clinical Practice in Adult Nursing (Acute Care)
講義室等	産業医科大学病院
学科	看護学科
対象学年	4年
開講学年	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	45
該当ディプロマ	◎看DP-3、看DP-1、看DP-2、看DP-4、看DP-5
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	白石 祈枝
授業の概要	成人期にある対象が侵襲的治療を受けることにより生じる身体的、心理的、社会的な影響を理解し、急性期から回復期の各段階に対応した看護を実践するために必要な基礎的看護能力を習得することを目的とする。 主に周手術期にある患者を受け持ち、手術による患者の苦痛を捉え、合併症の早期発見・予防、回復を促進するために患者の状態に合わせた看護を熟考し、日々、実践し評価する。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 学習者としての責任ある学習行動ができ、実習準備から実習終了まで、主体的な学習行動がとれる。 2. 急激な健康破綻をきたしている、または侵襲的治療を選択した対象の意思を尊重し、倫理的行動をとることができる。 3. 治療による生体への影響を理解し、治療中の対象の安全と心身の安楽の保障に向けた看護の実践について説明できる。 4. 急性期にある対象を多面的・総合的に理解し、手術など侵襲的治療からの円滑な回復に向けた看護が実践できる。 5. 回復期における対象と家族のニーズ、および必要な継続看護について考え、実現に向けた支援方法を説明できる。 6. クリティカルケアを受ける対象と環境の特徴の実際を知り、生活援助の一部を看護師の指導のもと実践できる。 7. 医療チームの一員として実習することに自覚をもち、援助に参加できる。
予習復習の所要時間	実習時間45時間
成績評価方法	成人看護学実習(急性期)評価表の項目について、ルーブリック(100%)を用いて評価をして、60点以上を合格とする。
教科書	なし
参考書	雄西 智恵美(編集), 秋元 典子(編集)「周手術期看護論」2014年(ヌーヴェルヒロカワ, 第3版) ISBN-10: 4861740606 江川 隆子(編集)「ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断」2016年(ヌーヴェルヒロカワ; 第5版) ISBN-10: 4861740673
その他	*詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。

A303

成人看護学実習(急性期)

令和4年度

授業計画(臨地実習・卒業研究)

		実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	第1週目	1日目：オリエンテーション、学内演習、午後より病棟実習 2日目：午前病棟実習、午後より学内演習 3～5日目：病棟実習および受け持ち患者の手術室実習	・シラバスと実習手引きを用いてオリエンテーションを行う。 ・技術演習（月：午後）	白石 祈枝 永松 有紀 村上 彩香
2	第2週目	1日目～5日目：病棟実習 5日目：午後学内実習	受け持ち患者の看護を実習指導者とともに実践する。	白石 祈枝 永松 有紀 村上 彩香
3	第3週目	1日目～3日目：病棟実習、ICU実習 4日目：合同学習会 5日目：学内実習	・受け持ち患者の看護を実習指導者とともに実践する。 ・1日はICU実習 ・合同学習会はグループワークとプレゼンテーションを行う。	白石 祈枝 永松 有紀 村上 彩香